

「DearCOLORシリーズ」 オリジナルの文具・ノベルティ商品を開発 営業、販売促進支援のためのグッズを提案

2009年3月に創業50周年を迎えた株式会社ミラテックは、オリジナルの文具・ノベルティ商品「DearCOLORシリーズ」を開発。販売代理店を募集している。「DearCOLORシリーズ」のブランド力をつけるため同社は2008年12月に香港で開催された世界中小企業エキスポへ出展。以降、大阪勧業展、JP情報・印刷産業展、まいどおおきに博、primedexに出展し、注目を集めている。着実に「DearCOLORシリーズ」の認知度と活用を広めている同社は印刷業界が大変革を迎える中、「経験の無い未知の領域」や「手付かずの領域」へと果敢に挑んでいる。



滝野賢治社長（primedex会場より）

株式会社ミラテックの代表取締役社長・滝野賢治氏は、以前フィギュアスケートアイスダンスの選手だった。小学校6年生の時からスケートをはじめ、1981年に姉の滝野薫氏とカップルを結成。1988から1992年まで全日本選手権で4連覇を達成し、世界選手権を4年間経験した。先代の滝野喜平次氏が亡くなった後、引退してミラテックに入社。2004年11月に社長に就任した。スケートを通じて培われた精神力や考え方は、経営者となった今も「ハンデは長所を創造する、現状を嘆くな、いじけるな」「能力無ければ人の倍努力しろ」といった人生哲学として息づいている。

滝野社長は、顧客のための価値創造を実現する

ため、受注生産体制から業務を一新した。2007年から本格的に「DearCOLORシリーズ」の開発を開始。顧客ニーズを把握した上で、それを自分達で制作し、価値ある商品として提供できるよう取り組んできた。この考えに基づき、同社はオリジナルの文具・ノベルティ商品の制作へと至った。

ミラテックはモノクロ印刷からカラー印刷へと業務の幅を広げ、Japan Colorによる標準化からパントン印刷サービスにも対応。カラー印刷サービスの充実化を図ってきた。カラー印刷で培われた技術力は、「DearCOLORシリーズ」にも活かされている。

「グラフィックデザインとは視覚化された情報であり、様々な配信手段というVehicle（乗り物）によって届けられる。配信手段が紙媒体・電子媒体に関わらず、配布目的に対し、的確なデザインを制作し、配布目的を達成する義務を果たすことがデザインの仕事と言えます」という滝野社長の言葉通り、用途に合わせたデザインを多数取り揃えている。

「DearCOLORシリーズ」

豊富な商品ラインナップで顧客ニーズを訴求
スケジュール帳からメモパッド、般若心経まで

「DearCOLORシリーズ」には、「Inspiretion Note



DearCOLORシリーズ（総合カタログより）

（インスピレーションノート）」「インスピレーションノート アーティストコラボレーション」「ToDoリスト」「リバーシブルノート」「ダイアリー（B5）／ダイアリーα（A5）」「プランナー」「教えてしおりん」「ディアマーメイドカレンダー」「パノラマカレンダー」「ポップハラミタ」「イヤビュー」「ノート・ド・ショコラ」「ビジネスパッド」「ノートブック」「スケールカード印刷サービス」などがある。

「インスピレーションノート」は、ポケットサイズのひらめきメモ。ちょっとしたアイデアや思いつきなどを書き留めるなど、用途を限定することで、役割と保存性を高める。

「インスピレーションノート アーティストコラボレーション」は、象形文字をモチーフに作品を手がける書家の森本龍石氏のデザインなど、アーティストとコラボレーションしたメモパッド。

「ToDoリスト」は、仕事の計画や案件などを記入し、完了をチェックする小さなノート。手軽に持ち運べて場所を選ばず書き込める紙の特長が活かされている。

「リバーシブルノート」は、「インスピレーションノート」とToDoリストをそれぞれ25枚ずつ組み合わせたノート。「いつでも思考し、リスト化」という流れの日常化を支援する。

「ダイアリーB5／ダイアリーα（A5）」は、日記帳と多彩なメモを備えたWリング製本のB5サイズと、携帯に便利なA5サイズの2種類を用意。ダイアリーαはアジロ無線綴じで十分な強度

と環境配慮を両立する。

「プランナー」は、カレンダーとイヤビューを組み合わせたダイアリー。日常の予定、年間のベーシックプランとToDoリストによる仕事のチェックを月ごとに確認できる。スケールページも付いており、手放せないアイテムになる。

「教えてしおりん」は、表に会社名やホームページアドレス、QRコードなどが入るカラフルなしおり。裏面にはオリジナルのスケールコンテンツを印刷でき、遊びどころ満載の多機能しおりとして、請求書やDM発送、営業活動に貢献する。

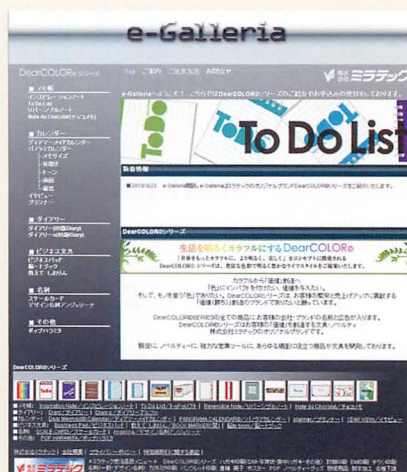
「ディアマーメイドカレンダー」は、タヒチやニューカレドニア、ハワイ、沖縄などのリゾート写真でヒーリング効果を演出するカレンダー。写真の差替えなどのオリジナル対応だけでなく、表紙や各月以外に、丸ごと1ページ広告スペースを設けることもできる。さらに裏面やスタンドへの名入れも可能で、広告スペースの多さが特徴。

「パノラマカレンダー」は、長期のスケジュールも一目で確認できるパノラマタイプのカレンダー。ポケットサイズとタテ倍サイズがある。オリジナルの写真に差替えれば多様な営業活動や販促活動用のツールになる。カレンダー機能に加え、スタンプカードとして、年間スケジュールの刷り込み販促や集客用途に活用できる。

「ポップハラミタ」は、般若心経をよりポップでカラフルなデザインのノベルティグッズにアレンジ。般若心経を理解しやすくするため、独自に訳した訳文や写経ができる仕様も用意。お守りや身



DearCOLORシリーズ (教えてしおりん、脳ートブック、パノラマカレンダー)



DearCOLOR紹介専用ホームページ

に付けるアイテムとして、またおみやげなど、幅広い年齢層に対応している。お寺や観光地以外に、メモリアルホールや仏壇仏具店へも提案できる。

「イヤビュー」は、月ごとの仕切りを無くし、365日で年間計画を確認できるスケジュールシート。ミーティングなどに最適なA2ワイドタイプと携帯に便利なパノラマタイプをラインナップしている。

「ノート・ド・ショコラ」は、リバーシブルノートをベースに、販売促進やイベント、キャンペーン、シーズン商品を提案するノート。表紙に商品やサービスの写真を活用することで、持続性のある販促活動を実現する。

「ビジネスパッド」は、打ち合わせの記録をお客と共有する2枚複写式のノートパッド。大事な打ち合わせを正確、安全に記録として残せる。先方の名前を入れたギフト商品としても喜ばれる。

「脳ートブック」は、放射状のグリッドで創造性のある思考を促すブレインノート。中央から放射状に使用することで、発想の連鎖を記録でき、思考を活性化する。

「スケールカード名刺サービス」は、名刺の裏に視力検査や定規、封筒サイズ、靴のサイズなどのスケールを入れることで、別用途に利用できる名刺を提供する。

「DearCOLORシリーズ」は、全ての商品で色彩豊かなカラーバリエーションが用意されている。時には販促ツールとして、また営業ツールとして、顧客の目的にあった文具・ノベルティグッズ制作で新たな価値創造とビジネスチャンス拡大を提案

している。

6月には「DearCOLORシリーズ」を紹介する専用サイトe-Galleria (<http://www.cmyk.co.jp/e-galleria>) を開設している。

印刷業界のコラボレーション実現へ 販売代理店を募集

「DearCOLORシリーズ」は、同社のオリジナルブランドとして展開するほか、印刷会社やデザインオフィス、広告代理店、プリントショップ、印章店、文具店、小売店などに対し、販売代理店契約を呼びかけ全国展開へ発展させている。

販売代理店はミラテックに販売代理店登録する。登録料などは一切不要で、初回取引のみ前金振込み制となっている。2回目以降は20日締め、翌月末払い。販売代理店には価格の30%がマージンとして支払われる。

同社は「DearCOLORシリーズ」の販売代理店登録によって、中小企業の商品開発時間やコストを削減し、御用聞きから積極的な提案営業へのシフトを提案している。また、同シリーズの販売を通じて、その他の受注拡大のチャンス創出を目指している。

株式会社ミラテック

〒534-0025 大阪市都島区片町2-9-9

電話 06-6354-3081 FAX 06-6358-2985

専用サイト<http://www.cmyk.co.jp/e-galleria>

会社ホームページ<http://www.cmyk.co.jp>

印刷会社同士のコラボレーション図る

印刷会社の出展では自社のビジネスを紹介することで他の印刷会社との協業促進やビジネスの

primedex_2010 報告



「DearCOLORシリーズ」によるノート、メモ帳、ビジネス文具などを出展したミラテック



Webを活かした企業広告を提案した六三印刷



iPad用の電子書籍制作のデモを展示したロイヤル企画



効果ある3D印刷を提案した陽成社



「パッケージデザイン紙製カレンダー」を提案した興栄社



多言語によるビジネスコミュニケーション支援を提案したオレンジ社

参考となる製品などが多く見られた。

ミラテックでは「世界をもっとカラフルに、明るく、美しく」をコンセプトに開発した印刷商品オリジナルブランド「DearCOLORシリーズ」によるノート、メモ帳、ビジネス文具などを出展した。ブースではダンボール製の什器について問い合わせも多かった。

六三印刷はデジタルサイネージ、モバイルソリューションで十数年にわたるWebへの取り組みの中で見えてきた新しい企業広告を提案した。

ロイヤル企画は参考出展としてiPad用の電子書籍制作のデモを展示した。またブースでは印刷会社各社とコラボレート出来る多数の商品アイテムやシステムソリューションが展示された。

陽成社はFUJIFILM 3Dプリントシステム導入による小ロットからの3Dプリントをはじめ柔軟な対応の3Dプリントサービスを紹介した。3Dプリントのメニューには3Dモーション、2Dアニメーション、2Dズーム商品などがあり、試供品も人気。またGC東京ブースにもコンテンツを提供した。

興栄社は電子書籍が事業として動くまでのツールとしてのPDF全文検索システムを紹介。そのほかオフィスを明るくするプリザーブドフラワーを展示した。また、同ブースに共同出展したダーツはエコを考え、遊び心のある「海面上昇カウントカレンダー／立体パズルカレンダー／キャンディカレンダー」等を紹介した。